

令和4年度地域と市長のまちづくり懇談会 芦原校区

開催年度回次	令和4年度第19回	開催月日	11月19日	開催校区	芦原校区	開催場所	芦原校区市民館
議題				市の回答			
<p>1. 自治会におけるIT推進について(ペーパーレス化)</p> <p>市においては、多様な行政情報をホームページに掲載するなど、市民サービスに利用しており、その内容は日々改善・更新されています。また、「広報とよはし」についても同様、バックナンバーを見ることも容易にでき、多言語化も実施するなど利便性の高い情報発信となっています。</p> <p>一方、自治会活動における一つの作業として、「広報とよはし」の配布や、それと同時に「各戸資料」、「各種回覧物」などの配布を毎月(または随時)実施しています。しかし、住民の高齢化や共働き世帯などが増加する中で、感染症対策の面からも自治会活動の負担を軽減する対応が望まれます。そこで、以下(1)、(2)を提案します。</p> <p>(1)市は、自治会が発行する「町内だより」や、市・関係機関が発信する情報などを閲覧するためのサーバー管理および閲覧用ツールを提供するほか、自治会で作成する町内だよりや他の発信物などを作成できるツールも自治会に提供してほしい。一部の自治会だけではなく、どこの自治会でも、詳しい知識なしで簡単に扱え、情報を共有できるようなシステムを整備してほしい。(一般的に流通する「電子回覧板」のイメージ)</p> <p>また、回覧物については業者にPDFデータ等を納品してもらうなど、電子化に移行できる体制を整える。</p>				<p>市民協働推進課</p> <p>(1)</p> <p>電子回覧板につきましては、生活スタイルが多様化する中で、自治会の情報などを会員の皆様に伝える効果的なツールだと考えています。</p> <p>市から各校区・町に自治連合会を通してお願いしています「組回覧及び全戸配布」につきましては、既にPDF化を行っており、WEB上に置かれた本棚である「ちいき本棚」からご覧いただけます。豊橋市自治連合会のホームページにもリンクが貼り付けてございますので、電子回覧板に掲載するデータとしてもご活用いただけます。</p> <p>既にコミュニケーションアプリ「LINE」を活用し、地域の情報を共有されている町自治会もございます。市内・市外の先行事例や、使用できるツールの調査を行い、その情報を皆様と共有してまいります。</p> <p>このほか、9月から「電子会議室」を主としたデジタル化応援講習会を開催しており、各自治会のIT推進の一端になればと思っております。</p> <p>このように、自治会におけるIT推進につきましては、今回ご提案いただきました「電子回覧板」のほか、「電子会議室」や「クラウドでのデータ共有」など様々なものが考えられます。自治会の会員を対象としたツールですので、自治会ごとに必要な機能をご検討いただき、適したものを、各自治会で選択・調達・運用していただきたいと思います。</p>			

(2)「広報とよはし」などの各戸配布は、電子回覧板を見る手段が無い方のみとする。

以上、自治会の各戸配布・回覧作業の電子化とペーパーレス化を進めることにより、自治会としての負担軽減と同時に自治会員の利便性向上にも繋がり、市としての費用削減(校正・印刷・配布)等の効果やスピードアップを図ることができると思われま

広報広聴課

(2)

広報とよはしをはじめ、市からの配布物の電子データをお渡しできますので、電子化を希望される自治会についてはお申し付けください。また、電子回覧板などを閲覧するにあたり、スマートフォンやパソコンの操作が苦手な方もいらっしゃいますので、必要な方については今後も紙で配布いただくようご協力をお願いします。

開催年度回次	令和4年度第19回	開催月日	11月19日	開催校区	芦原校区	開催場所	芦原校区市民館
議題				市の回答			
<p>2. 防災関係</p> <p>(1) 芦原校区の避難所について、芦原小学校に設置していますが、芦原小学校は梅田川沿いにあり標高も低く、津波・台風時には浸水も想定されます。自然災害の種別に関わらず安全な避難場所の設置を要望します。</p> <p>また、自然災害による避難所生活になるとトイレが一番不便になります。京都府の亀岡市を参考に、緊急トイレカー等を配備することで、災害時の利用および他県への被災地支援として活用できることから導入を検討してください。</p> <p>(2) 防災無線について、(1)同様に小学校校庭に設置されており、高台の各町内からは無線の内容が聞きづらいです。高台に中継器を設置し校区内に広く鮮明な放送を要望します。</p>				<p>防災危機管理課</p> <p>(1) 芦原校区に関しましては、洪水発生時には浸水想定域外の高台などへの避難を原則としますが、第二指定避難所である高師老人福祉センターや、本郷中学校や高師小学校などの校区をまたいだ避難も考えられます。</p> <p>自分の命は自分で守る、そのための最良の選択ができるよう、防災訓練などでの啓発活動に引き続き力を入れてまいります。</p> <p>次に、災害時のトイレについてですが、本市では災害用簡易トイレを第一指定避難所に各2台、第二指定避難所に各4台、防災備蓄倉庫には305台の計818台整備しています。このほか、災害用マンホールトイレを広域避難場所や第二指定避難所の29か所に285基整備しており、高師緑地には39あります。</p> <p>なお、災害発生時のトイレの重要性や、災害時のトイレ利用については、防災訓練や小学校などへの出前講座においても、重要な項目として啓発しており、引き続き行ってまいります。</p> <p>(2) 市からの緊急情報の伝達は、一つの手段では難しいことから、情報伝達手段の複線化により、多くの市民に伝達することとしています。具体的には、豊橋ほっとメールやヤフー防災、防災アプリ「ハザードン」などによる通知、豊橋防災ラジオの割り込み放送を活用するほか、消防署や消防団、広報車の巡回による広報などにより情報の伝達に努めます。</p>			

開催年度回次	令和4年度第19回	開催月日	11月19日	開催校区	芦原校区	開催場所	芦原校区市民館
議題				市の回答			
<p>(3)あしはら保育園が新芦原の急傾斜地に設置されていますが、自然災害の観点からも平坦な場所へ移転し、安全な保育の推進を検討してください。</p>				<p>保育課</p> <p>(3)土砂災害防止法に基づき、愛知県が基礎調査を実施し、土砂災害のおそれがあると指定した区域を土砂災害警戒区域といいます。あしはら保育園の東側にある斜面は同区域に指定されていますが、園自体は土砂災害による危害のおそれがあるとの調査結果は示されなかったことから、指定はされていません。</p> <p>なお、同園では、平成30年に土砂災害避難確保計画を策定しており、その中で、東側斜面状況の目視や、表面から水が噴き出している等の異状が確認された場合の速やかな避難、第一避難場所を傾斜地から離れた園舎2階の遊戯室及び乳児室に設定等、所在地に応じた対策を定め、毎月行っている避難訓練の中で土砂災害を想定したものも取り入れていることなど、市としても確認しています。</p>			

開催年度回次	令和4年度第19回	開催月日	11月19日	開催校区	芦原校区	開催場所	芦原校区市民館
議題				市の回答			
<p>3. 校区「桜まつり」の電源供給について</p> <p>令和3年度より芦原駅前の桜並木にて「芦原校区桜まつり」を開催しており、コロナ禍でのイベントとして地元の方や渥美線利用者からの評判も良く、ケーブルテレビや新聞社などにも取り上げられました。</p> <p>昨年度、提灯を100個ほど点灯する際、携帯発電機を4つ使用しましたが、自動で電源のオンオフができない、盗難防止対策として毎日設置しなければならない、雨天時に開催できないなどの課題がありました。</p> <p>今後も継続し校区民、市民のみならず渥美線を利用する方々にも楽しんでもらうため、市の観光対策の一環として、電源の供給対策をお願いできないでしょうか。</p>				<p>観光プロモーション課</p> <p>本市の観光振興施策は、市外からの誘客と消費喚起を促すことを目的としており、花を活かした事業では、豊橋公園における“桜まつり”や賀茂の“花しょうぶまつり”などいくつかありますが、知名度や希少性、観光客の受け入れ環境など、誘客に関して、費用対効果などを総合的に勘案して実施しているところです。</p> <p>そうしたことから、現時点では、芦原駅前の桜並木のライトアップについて、観光振興施策として実施することは難しいものと考えております。</p> <p>市民協働推進課</p> <p>「芦原校区桜まつり」につきまして、地域におけるまちづくりの側面もあるかと思えます。</p> <p>市民のまちづくり活動に対し資金面で応援する制度として「市民協働推進補助金」がございます。プレゼンテーションや外部有識者による審査などを経て交付されるものです。</p> <p>電源供給対策にかかる経費増など、資金面での対応に苦慮される場合には、活用をご検討いただければと思います。</p> <p>申請に関する要件や書類、時期など詳細につきまして、担当課である市民協働推進課にご相談いただければと思います。</p>			